



児童一人一人キッチンと与えられた仕事をやっています。お家では どうでしょうか……？

家庭の仕事を子供に分担させよう

～生きる力を育てるために～

小須戸小学校長 阿部 哲



「生活に必要なものが、たいがい、お金で買えるようになったので、家庭は、ほとんど生産の場がなくなり、純粋に家庭の思いやりのこころやしつけだけが残る」といって、そうはいきません。ところが、こころやしつけとばかり、それだけを純粋培養し、抽出することはできないのです。複雑な日常の営みの副産物としてのみ、附加価値としてのみ存在することができるのです。」

「しなやかな教育論」私の臨場教育レポート(木村治著)より

子育ての理想を若い父母に伝える様々な営み、中でも仕事とか役割を果たすという具体的な日々の営みの中で、育てられるのではないだろうか。

今日、家庭における子供の仕事とか役割が少なくなってきたり、家庭生活の実体が希薄になってきているように思える。

一方、学校や地域や地域における子供の様々な問題行動を見聞きすると、子供の心が思うようには育っていないことを窺える事象がかなり見られる。

思いやりを、しつけにしろ、育てたり身につけさせたりするには、木村氏がいうようにそれだけを純粋培養するなどは、不可能で、家庭生活を

朝の玄関掃除、廊下の雑布がけは日課であった。冬期間の雑布がけには、湯タンポの湯を使った。家の前の道路や庭の草取、近所の店への買い物、冷蔵庫などなかった時代、夏季には大きめのやかんに清水を汲んでくるのも仕事であった。

炊事や風呂は全て薪を使っていたので、薪割りや、二メートル程の柴木を二つにこなすのは、一家の男子の仕事であった。小学校の高学年の頃から、私専用の鉋が与えられていた。

これらの仕事は決して楽しなかつたが、やらなければならぬ仕事であった。

父親のやる仕事には、必ずそばで一緒にやらされた。遊びに行きたくても、その時間、外出は禁じられていた。

この様な仕事をしてお知らせすることは、家庭生活を成り立たせるために必要な労働があること、その一端を自分も担わされているということである。

また、自分の仕事は家族のため

現在の家庭生活は、ごく普通にしているならば、どうしても「過保護」にならざるを得ない。掃除一つとっても、昔はほうき、雑布がけであったが、今は電気掃除機、ダスキンの時代である。子供の手をかりるまでもない。知らず知らずのうちに過保護になってしまふ。

しかし、この様な状況であっても、それぞれの家庭で分担させられる仕事はあるはずである。ちよつとした苦しさに耐えて仕事をやり遂げることにより、

季節の変わり目もあつた。五月晴れの頃、畳を上げての大掃除、六月に入ると、笹だんごの笹の葉採りに父親と山に分け入った。七月、障子の張り替えで、棧についたのりや紙をはがすために裏の川へ障子戸を持つていき、洗い落とした。

八月、お盆を迎えるために、家総出で墓掃除に向つた。藪蚊に刺されながらの作業に四時間もかかるひどい墓地だつた。

時々父親の代理でお盆の時、親戚への挨拶まわりに行かされた。気の重い仕事だつた。

十一月、冬を迎えるための冬の囲いの取り付けの手伝い、冬野菜の取りこみは、寒風の中、手が凍えた。

雪おろし、これはきつい労働だつた。正月準備の餅つきをやり、腰まで埋まる雪をこざいて門松の杖採に行つた。

めには役に立っている、頼りにされていると感じさせられたことである。

この感じはいささか自尊心をくすぐるものがあった。

前にも書いたが、仕事は決して楽しいものではないが、頼りにされていると思つたり、より一人前に見られたいという気持ちで、言われもしないのに屋根に上つて雪おろしをしたり、小屋にもぐつて柴木こなしをしたりした。

ちよつとしたほめ言葉はうれしく、認められたと思つことに誇りを持つことができた。

少し大きくなれば、生きる自信というものをつつけられたといつていい。

極めて個人的な体験を語ってきたが、私の同世代の人間であれば、仕事の内容は違つていても、私の様な体験を誰れもがしてきている。

小須戸公民館報

発行所 小須戸公民館
 小 須 戸 町 中 央 公 民 館
 発行人 岡 謙 吾
 発行日 毎 月 15 日

ちよこつと一言 (100)

「100人目です」
 「どうぞよろしく」
 この春、主人の故郷である小須戸町に引越してきました。上の子は小須戸小、下の子は幼稚園にお世話になっています。

先日の小学校の運動会では、100M走が直線で走れるグラウンドの広さにびっくり、幼稚園も町立で設備も整つていて、子育て

中央町五
大貫 正子 さん

には良い環境と喜んでます。公民館もわりと近いので、早速図書館を利用して頂いています。

主人の転勤に伴い、引越の多かつた我が家ですが、ようやくこの町に落ち着けそうです。子供たちもこの町を故郷として、のんびりのびのび、育つてほしいと願っています。

読んでトクする豆知識

洗濯物はボタンをかけてから干す

シャツやブラウスなどボタンのついたものを洗ったら、必ずボタンを全部とめてから干すようにします。タオル地のものやニットなども同様にしましょう。

- ### 第五十一回県展入選作品(2)
- 健闘をお祈りいたします。
- 高野 孝子(蔵町三)
 ●松田 亜子(文京町一)
 ●丸山 葉子(ウデコキ二)
 ●高野奈緒子(小向)
- 中山 梨沙(矢代田)
 ●大野 綾子(松ヶ丘)
 ●川村 朋子(若葉町三)
 ●丸山美奈子(若葉町二)
 ●鶴巻恵理子(天ヶ沢)
 ●高野 美穂(蔵町三)
- 高野 尚美(小向)
 ●高野 尚美(小向)
 ●高野 尚美(小向)
- 高野 尚美(小向)
 ●高野 尚美(小向)
 ●高野 尚美(小向)

←「王維詩」
 新町4丁目 菊地伸一さん

作品の姿は赤い縁どりを入れて対にしてみました。左右の呼応に苦心しました。

「EGG STONE FANTASY」
 本町1丁目 渡辺吉夫さん

石と卵の調和、夢のような空想を表現しました。

公民館運営審議会

住民のパイプ役として

当町中央公民館では、二ヶ月に一回「公民館運営審議会」を開催しています。

今年度の運営方針は「学習活動を高める公民館活動」です。生涯学習を推進することから、各種学習活動を積極的に取り組むため、グループ活動の育成と有志指導者を斡旋しています。公民館主催の教室、講座だけでなく、地域の方々から「こういう学習をしたい」「講師を紹介して欲しい」といった要望等



に対し、少しずつではあります。が、地域内の集会所で「教室」が何回か開かれています。

自ら何人かで積極的に学習をやろう、やりたいという気運が盛り上がりつつあると感じます。

公民館予算、公民館教室や講座の事業は公運審会議で報告を行い、審議しています。

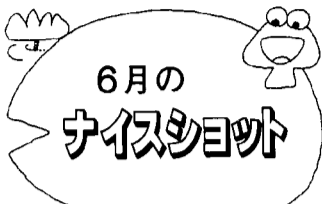
又、各種大会(中公連や県公民館大会)に参加し、近隣の公民館の情報を取り入れ、公民館運営を地域住民の声を反映しながら進めたいと考えています。

今回、公民館より諮問を受けた事項は、公民館報のあり方についてであります。

紙面の内容・文字の大きさ・他市町村の状況についてを検討し、答申することになっております。この機会に、地域の方々の意見を拝聴できれば幸いです。



7日 家庭教育学級「つくしんぼ」
簡単にできる手づくりクッキーをつくりました。
子守りをしながら、こころうさまで〜。



8日 花いっぱい教室
胎内フラワーパークへ見学に行ってきた。
色々な花が植えられていました。



7日 夜間陶芸教室
湯飲み茶碗をつくっているところです。
どんな茶碗ができるのかなあ〜?



8日 花いっぱい教室
胎内フラワーパークへ見学に行ってきた。
色々な花が植えられていました。

催し物(案内)

社交ダンスクラブ

サマーパーティー
日時 七月、十七日(土)
午後六時二十分から九時十分
会場 ふれあい会館(矢代田)
会費 一人六百円
※女性はヒールカバーをつけて来て下さい。

八月のおもしろ雑学講座

「転ばぬ先の杖」
一いざという時のために
日時 八月九日(金)
午後七時二十分から九時
会場 中央公民館二階会議室
お話し 洪木義春さん
(白根地区消防本部)

子どもアニメ映画会

中央公民館では、夏休みに入っている子どもたちのために、アニメ映画会を開きます。
大画面で楽しいアニメをみましょう。みなさんどうぞ!
◆中央公民館
八月七日(水)
午前十一時二十分
◆ふれあい会館
八月七日(水)
午後二時二十分
*いずれも入場無料です。

分館催し物(案内)

【横水分館】

野球大会
日時 八月十八日(日)
午後四時開会
会場 スポーツ公園グラウンド
◆ふれあい電話相談
八月の相談日
二日(金)・九日(金)・十六日(金)・
二十三日(金)・三十日(金)
午後一時〜四時
☎ 三三三三〇〇

中学校プール 一般開放スタートします

◆開放期間
七月二十一日(日)から
八月十八日(月)まで
(但し、八月十三日、十四日、
十五日、十六日は休みです)
◆曜日と時間
・月曜日から土曜日は
午後五時三十分〜七時三十分
・日曜日は
午前九時〜十一時三十分
午後二時三十分〜四時
◆使用上の注意
※小学生以下は保護者同伴。又
は必ず責任もてる成人が同
伴して下さい。
※飲食、喫煙は禁止です。
※疾病のある人は遊泳できませ
ん。
※その他、詳細については、プ
ールの掲示物や係員の指示に
従って下さい。

図書だより 〈新刊案内〉

【中央公民館】
○愛していると云ってくれ
北川悦史子
○満月空に満月
海老 泰久
○メランコリア
村上 龍
○蒼穹の昴(下)
浅田 次郎
○贅沢貧乏のメリア
群 ようこ
○金田一耕助の新冒険
横溝 正史
○司馬遼太郎の世紀(保存版)
朝日出版社
○神々の指紋(下)
グラハム・ハンコック
○脳を究める
立花 隆
○パソコン超仕事法
野口悠紀雄
○子どもを伸ばす「なぜ」の聞き
方、答え方 松原 達哉

リストアップ

小須戸町民謡愛好会

民謡を愛する私たちが中央公
民館をお借りして民謡の会を発
足したのが昭和五十五年十月
でした。
当初珍らしきもあつてか七十
余名の会員でした。以来、結城
先生のご指導を受け毎週、回中
央公民館で民謡の歌唱力向上と
会員相互の親睦を第一として練
習しています。年一回新潟・新
津・小須戸地区との連合の発表
会。そして、小須戸地区だけの
発表会並びに小須戸町の芸能祭
に参加しています。
昨年、岩室甚句日本一大会に
出場し見事日本一の栄誉に輝き
ました。これも結城先生の熱心
な指導と中央公民館で十分な
練習ができたことと会員一同感
謝しています。七月七日は、恒
例の十日町小唄日本一大会が開
催され、全国から百名以上参加
します。昨年は当会から五名出
場し一名が六位入賞を果たしま



【ふれあい会館】

○胸の香り 宮本 輝
○ふたり 唐沢 寿明
○まんぷく劇場 室井 滋
○水鳥の関(下) 平岩 弓枝
○ここらからだ 五木 寛之
○君もコクリコわれもコクリコ
お詫び申し上げますとともに、
その箇所については正誤表をも
って対応させて頂きたくご連絡
申し上げます。
尚、皆様方の中で誤字、脱字
電話番号等の誤りがある場合は
七月二十三日迄に商工会(三三
一三五〇)へご連絡下さい。
〔正誤表は、八月発行の予定〕

文芸欄

柳 女房に道理通せぬ駄目亭主 栗原ひさし
時代の差あつても子には道教え 藤井春江
生真面目も酒が廻ると乱れ道 松沢キヨ
この道が出来商店街過疎となり 増井都留

川 新緑を麓におきて白馬峰は氷雪深き梅の池 伊藤昭溪
抱く
若き日の面影あらず老の友前髪白き我に
問えくる 河内ヒロ
散り初めし桜の花びら又一つ川面に落ちて
浮かびて流る 小林芳子
雨上がり黒き地面に仄々たるぼる狭霧の
やはらかくして 鈴木ハナ

歌 松風に吹かれ子鹿を見てみたり 藤井れい
新樹光仁王に投げる紙つぶて 花沢いせ子
声のして仰ぐアンテナ初燕 村木リツ
青田原峰より風のわたる 須藤恵美子
老人車と曾孫が憩ふ青葉風 吉田ミナ
吹き上ぐるガムの飛沫や花うつき 間助秀穂
青嵐私語のはげしきボブラの木 丸山虚秋
豪農の障子を開く青越後 内山越楼

俳句

家庭分布図「すくすく」
のお詫びと訂正について
小須戸町商工会青年部より
先般、発刊致しました家庭分
布図について、記載内容に誤っ
た箇所が有り、町民の皆様にご
迷惑をお掛け致しましたことを
お詫び申し上げますとともに、
お詫び申し上げますとともに、
その箇所については正誤表をも
って対応させて頂きたくご連絡
申し上げます。
尚、皆様方の中で誤字、脱字
電話番号等の誤りがある場合は
七月二十三日迄に商工会(三三
一三五〇)へご連絡下さい。
〔正誤表は、八月発行の予定〕

ラジオ体操を楽しく
やりましょう!
毎週土曜日 夜七時三十分
小須戸小学校体育館にて